

# 音が「見せる」光の動き

## —運動知覚における視聴覚相互作用—



人文社会科学系国際共同研究拠点では、拠点メンバーによる研究内容を広く知っていただくことを目指して、研究会を開催いたしております。

第六回は、文学部の寺本渉准教授より、上記テーマにて発表していただきます。

我々は外界を認識する際、視覚情報（顔、車の形）だけでなく、聴覚情報（音声、エンジン音）など複数の感覚情報を無自覚に利用しています。例えば、腹話術師は人形を巧みに使い、実際には腹話術師が話しているにもかかわらず、あたかも人形が話しているような効果を生じさせます。この効果に代表されるように、映像が音の聞こえに強い影響を与える現象は、過去にたくさん報告されています。今回の研究会では、その逆の現象、すなわち音の聞こえが映像の見え方に与える影響について、心理実験と脳イメージングで明らかになった成果をご紹介します。

テレビや映画に代表されるように映像と音は高臨場感マルチメディア技術にとって必要不可欠な要素です。音と映像が脳でどのように処理され、結びついているのかをさらに明らかにすることによって、将来よりいっそう臨場感やリアリティの高いコンテンツを作り出せるようになるかもしれません。

貴重な機会ですので、幅広い領域の研究者、教員、学生の皆様の参加をお待ちしております。

平成29年2月28日(火) 13:00~14:20

文法学部棟 2階 共用会議室

※事前申込は不要です。当日、直接会場にお越し下さい。

寺本 渉

(文学部 准教授)

問合せ先: マーケティング推進部 研究推進課 戦略担当

k-senryaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp (3308)